

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 22 日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23520262

研究課題名(和文)書誌学的見地から見た火野葦平文学基礎研究

研究課題名(英文)Was based on the bibliography Ashihei Hino literature basic research

## 研究代表者

増田 周子(MASUDA, CHIKAKO)

関西大学・文学部・教授

研究者番号：30294664

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文): 科研費を受けた期間の主な研究は次のとおりである。火野葦平の『聊齋志異』改変作品群研究 1955年の「アジア諸国会議」と、その会議での火野の役割、インドの差別の実態に対する火野の見解などの研究 国際シンポジウム「戦争の記録と表象 日本・アジア・ヨーロッパ」を開催し、韓国の研究者3名を招聘し、火野葦平や戦争の問題について活発に議論し研究した。それらの成果は、『戦争の記録と表象 日本・アジア・ヨーロッパ』(2013年3月、関西大学出版部)、『一九五五年火野葦平「アジア諸国会議」とその周辺』(2014年5月、関西大学出版部)としてまとめられた。

研究成果の概要(英文): The main study in the period when the research fund was received is as follows. An international symposium "observations of a war and a symbol-Japan and Asia Europe" was held and 3 Korean researchers were invited. I argued a problem of Ashihei Hino and a war actively and talked about a war internationally. The outcome was gathered as "observations of a war and a symbol-Japan and Asia Europe" (March, 2013 and Kansai University Press). The work group called Hino's "Liaozhai Zhiyi" alteration thing was studied and it was gathered in a thesis. Hino's view to Hino's role by "meeting of Asian countries" and the meeting and the reality of the Indian discrimination of 1955 was considered. I'm going to issue those studies as "1955 year Ashihei Hino "meeting of Asian countries" and its circumference" (May, 2014 and Kansai University Press).

研究分野：日本近代文学

キーワード：戦争 アジア 「アジア諸国会議」 インド 『聊齋志異』 火野葦平 不可触賤民 平和

## 1. 研究開始当初の背景

火野葦平は、芥川賞を受賞した『糞尿譚』(1938年、小山書店)で文壇にデビューし、戦時下には従軍作家としての体験を書いた兵隊三部作を描き、ミリオンセラーになる。日本で最も従軍期間が長かった作家であり、そのために、戦後は厳しく戦争責任を問われ、公職追放となった。公職追放解除後は、自己の両親のことを記した『花と龍』(1953年、新潮社)で、見事復活を果たし、平和活動に積極的に取り組んだ。しかし、戦争加担者としての汚名を完全には拭き切れず、波乱に富んだ時代に振り回された。精神的に疲れた火野は、1960年には自殺してしまうが、昭和作家の代表的存在であることは言うまでもない。火野の先行研究としては、平野謙によって絶賛された田中艸太郎の『火野葦平論』(1971年、五月書房)がはやくに書かれ、火野と同じく九州文学の同人であった原田種夫が『実説 火野葦平』(1961年、大樹書房)を著した。近年になって、やや注目され、鶴島正男が『評伝火野葦平』(1995年、裏山書房)を著し、池田浩士が『火野葦平論』(2000年、インパクト出版会)、などが刊行されている。また、成田龍一『歴史はいかに語られるか』(2010年、筑摩書房)や山川出版社から刊行された『日本史ブックレット』など日本史関係の専門家も火野葦平に注目してきた。ただ、これらの研究は、ほとんど、火野葦平資料館や北九州文学館に収蔵されている珍しい数の火野自身の自筆の資料には目を通していない。そこで、書誌学的見地に基づき、火野の自筆資料をもとに研究することが、次の課題であると認識した。

## 2. 研究の目的

本研究は、書誌学的見地から火野葦平文学研究の基礎的研究全般を行うのが目的である。火野葦平資料館、北九州文学館所蔵の「創作ノート」、「日記」、「従軍手帳」、など数百点にもわたる火野葦平の未公開の自筆資料を翻刻、公開し、火野文学の書誌を充実させる。そして、そこから得られる、火野葦平の創作の思考過程、執筆動機、伝記事項などを詳細に考察する。また、火野の従軍手帳から見た、日本のアジア太平洋戦争の諸相の一端、さらに、公職追放後に火野葦平が積極的に行った、平和的活動 具体的には、アジア諸国会議における火野葦平の参加貢献等を研究する

## 3. 研究の方法

福岡県にある火野葦平資料館、河伯洞、北九州文学館を訪れ利用した。そして資料を閲覧、デジタルカメラ等で撮影し、適宜複写した。その資料を元に、復元し翻刻する作業を行った。翻刻したものを論文にまとめ、一部出版した。その他、海外現地調査、聞き取り調査を行った。

## 4. 研究成果

4年間の科研費受給期間に、火野の怪異小説研究、火野の戦争文学研究、火野の戦後の平和活動の研究などを推進することができた。

特に、怪異小説については、火野葦平の『聊齋志異』改変小説群の研究を行った。火野は、『聊齋志異』をもとに改変、改作した作品を数十篇描いていて、そのおよそ8割を、「創作ノート」などの書誌学的な文献を用いて研究することができた。また、河童作品群から「手」という作品を研究することができた。

火野の戦争文学については、『土と兵隊』のもとになった杭州湾上陸作戦と従軍手帳の関係を論じ、広東進軍作戦に参加したときの作品、『広東進軍抄』について考察した。『土と兵隊』の研究では、関西大学東西学術研究所と共同し、韓国の研究者3名を招いて、国際シンポジウム『戦争の記録と表象 日本・アジア・ヨーロッパ』を開催した。日本・アジア・ヨーロッパ研究に携わる国内外の研究者と議論を尽くし、大変大きな成果をあげることができた。このシンポジウムの成果は、『戦争の記録と表象 日本・アジア・ヨーロッパ (関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ)』(関西大学出版部)にまとめられ、広く一般に公開した。

さらに1955年4月6日から10日、当時の国際緊張関係を緩和する目的で、ラメシュワリー・ネール夫人の呼びかけで、デリーにて開催された「アジア諸国会議」について、詳しく研究し、『1955年「アジア諸国会議」とその周辺 火野葦平インド紀行』(関西大学出版部)を著した。火野の戦後の平和活動についての一端がわかり、有意義であった。

以上、全体として、著書5件、雑誌論文11件、学会発表9件を発表することができ、当初予定した以上の研究成果が得られた。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 11 件)

「火野葦平「手」と水木しげる「河童の手」、増田周子、『文学論集』, 単著, 第巻第4号, 26~29頁, 2014, 査読なし

火野葦平「女賊の怨霊」論—芥川龍之介作品の影響から—, 増田周子, 『関西大学東西学術研究所 研究報告書 日本文学・芸能研究班』, 査読なし, 単著, 47-60頁, 2014

火野葦平「取りかえばや物語」論 その典拠と改変, 増田周子, 『東アジア文化交渉研究』, 査読あり, 単著, 第5号, 199-212頁, 2012

ドナルドキーン氏と火野葦平 火野葦平  
発信ドナルドキーン氏宛未発表書簡八通や  
未公開資料火野葦平『アメリカ旅日記』を踏  
まえて , 増田周子, 関西大学『文学論集』,  
査読なし, 単著, 第 62 巻第 3 号, 1~35 頁,  
2012

火野葦平「糞尿譚」論 その典拠『聊齋志  
異』「画皮」との比較 , 増田周子, 関西大  
学『国文学』浦西和彦教授古希記念号, 査読  
あり, 単著, 第 96 号, 273-294 頁, 2012

火野葦平『妖亀伝』論 - 『聊齋志異』「申  
氏」の受容、改変を中心として-, 増田周子,  
関西大学東西学術研究所, 単著, 2011

火野葦平「画壁」考 『聊齋志異』の比較  
を中心として , 増田周子, 関西大学『国文  
学』, 査読あり, 単著, 2011

火野葦平「白い顔に黒い痣」論 『聊齋志  
異』「瑞雲」の受容と改変 , 増田周子, 『東  
アジア文化交渉研究』, 査読なし, 単著, 第  
4 号 21~32 頁, 2011

火野葦平「広東作戦」従軍手帳翻刻 陸軍  
報道班員の記した支那事変の記録 , 増田  
周子, 関西大学『文学論集』, 査読あり, 単  
著, 62 巻 2 号 51-101 頁, 2011

火野葦平「赤い国の旅人」の成立と新中国  
認識 「中国旅日記」との比較および、初出  
削除問題を中心として , 増田周子, 関西大  
学『東西学術研究所紀要』, 査読あり, 単著,  
第 44 輯 29~47 頁, 2011

火野葦平「淫神」考 その典拠『聊齋志異』  
「五通」・「五通二」との比較 , 増田周子,  
『あしへい』, 査読あり, 単著, 第 14 号,  
118-131, 2011

〔学会発表〕(計 9 件)

一九五五年火野葦平新中国聞記- 広州・武  
漢・北京を中心として-, 増田周子, (於) 広州  
外国語大学(中国), 2014 年 8 月 20 日

火野葦平「広東進軍抄」論 フィクション  
としての戦争文学 , 増田周子, 日本近代文  
学会, (於) 関西大学(大阪), 2013 年 10 月 2 日

火野葦平『土と兵隊』研究 「創作ノート」  
の記録検証 , 国際シンポジウム戦争の記録  
と表象 日本・アジア・ヨーロッパ, 科研費・  
関西大学国際部・関西大学東西学術研究所共  
同シンポジウム , 増田周子, 2013 年 9 月 22  
日, (於) 関西大学(大阪)

火野葦平「恋と牡丹」論 『聊齋志異』「葛

巾」との比較研究 , 増田周子, 日本比較  
文学会関西支部例会, 2013 年 1 月 26 日, (於)  
京都女子大学(京都)

ドナルト・キーン氏と火野葦平 米コロ  
ンビア大学所蔵ドナルド・キーン氏宛火野葦  
平書簡をふまえて , 増田周子, 葦平忌,  
2013 年 1 月 20 日, (於) 若松市市民会館(北九州  
市)

芥川龍之介と火野葦平 「女族の怨霊」を  
中心として , 増田周子, 国際芥川龍之介学  
会, (於) 西ワシントン大学(アメリカ), 2012  
年 10 月 6 日

「火野葦平「手」と水木しげる「河童の手」,  
関西大学東西学術研究所, 増田周子, 日本  
文学・芸能班例会, 2012 年 2 月 21 日, (於) 関西  
大学(大阪)

火野葦平「取りかえばや物語」論 その典  
拠と改変 , 増田周子, 2011 年 8 月 3 日  
(於) 陳西師範大学(中国)

火野葦平『広東進軍抄』の成立と「従軍手  
帳」, 増田周子, 青春と戦争の惨禍 大阪日  
赤と救護看護婦 大阪都市遺産 2011 秋のシ  
ンポジウム, 43~51 頁, 2011 年 10 月 1 日, (於)  
関西大学(大阪)

〔図書〕(計 5 件)

『1955 年「アジア諸国会議」とその周辺-  
火野葦平インド紀行-』, 増田周子, 関西大  
学出版部, 査読なし, 単著, 271 頁, 2014

火野葦平文学の軌跡( 図録), 増田周子,  
関西大学東西学術研究所, 査読なし, 編著,  
全 24 頁, 2013

『戦争の記録と表象 日本・アジア・ヨー  
ロッパ (関西大学東西学術研究所国際共同  
研究シリーズ)』, 増田周子, 編著, 関西大学  
出版部, 査読なし, 230 頁, 2013

火野葦平「妖亀伝」論金銭に翻弄される物  
語 『聊齋志異』「申氏」の受容と改変 , 増  
田周子, 東西学術研究所 60 周年記念論集』,  
関西大学出版部, 査読なし, 単著, 201~220  
頁, 2011

火野葦平『広東進軍抄』の成立と「従軍手  
帳」, 増田周子, 単著, 大谷渡編『青春と戦  
争の惨禍 大阪日赤と救護看護婦 研究報  
告書』, 査読なし 43~51 頁, 2011

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:

発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

市民講座  
火野葦平文学にみる笑い，増田周子，吹田  
市民講座，2011

## 6．研究組織

### (1) 研究代表者

増田 周子 (MASUDA. CHIKAKO)  
関西大学・文学部・教授  
研究者番号：30294664